なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

STAGE 10　Tricky Words
トリッキーワード

the, said, was などルール通りに読めない超頻出語。理由（歴史）もわかるとこわくない。



① まなぶ・かく
きまりを よんで、絵の ことばを 音ボタン（・ー）を おさえながら よみます。4線に なぞって かいたら、絵と ことばの 線むすび。

② れんしゅう
あなうめ、ならべかえ、サウンドボックス（音ごとに わけて かく）、なかまはずれ。よめる ことばを どんどん ふやします。

③ よむ・あそぶ
文の 音読（☆を ぬる）、ディクテーション、ワードサーチ、ことばの めいろ。さいごに「できたかな？」を チェック。

おうちの方・先生へ
1ユニット＝3ページ。1日1ページ（5〜10分）でも、3ページまとめて1コマでも使えます。各ユニット1ページ目の QR コードから、サイトのユニットページ（音声・口の形・ゲーム）を開けます。音は必ず聞いてから進めてください。発音記号は英和辞典式（アメリカ英語）です。こたえは この冊子の最後にあります。ディクテーションで読む文もそこに書いてあります。書き順は学校の教科書に合わせてください。

★ この さっしの ユニット　おわったら 日づけを かいて ☐ に しるし

the a I to



into

96　/ ☐

said was



give

97　/ ☐

could would



mother

98　/ ☐

語 この さっしで よめるように なる ことば　よめたら ☐ に しるし

☐ a	☐ I	☐ the	☐ to	☐ do	☐ into
☐ he	☐ she	☐ we	☐ me	☐ be	☐ no
☐ go	☐ so	☐ my	☐ by	☐ is	☐ his
☐ has	☐ as	☐ was	☐ said	☐ says	☐ they
☐ have	☐ give	☐ live	☐ put	☐ push	☐ pull
☐ full	☐ come	☐ some	☐ love	☐ one	☐ once
☐ two	☐ who	☐ what	☐ were	☐ could	☐ would
☐ should	☐ does	☐ other	☐ mother	☐ father	☐ water
☐ eye	☐ door	☐ floor	☐ again	☐ half	☐ laugh
☐ because	☐ great	☐ busy	☐ people	☐ hour	☐ sugar

家庭・教室での印刷は自由です（再配布・販売はご遠慮ください）

トリッキーワード 1 ① まなぶ・かく

月　日　なまえ＿＿＿＿＿＿＿＿

the a I to



オトッピ

きまり

ルールどおりに よめない けど、えいごで いちばん よく でる ことば！ the や I は、みたら すぐ よめるように「かお」で おぼえちゃおう。

くちの コツ（おうちの方・先生へ）

the, a, to, of などは文の中ではふつう弱く /ə/ で読まれる（the /ðə/, to /tə/, of /əv/）。1語ずつ強く読みすぎないこと。単語カードの音声と発音記号は、その語だけをはっきり読んだときの形（of は強形 /ʌv/、to は /tuː/）で示している。

おとを きこう（ユニットのページ）

1 ゆびで おさえながら、こえに だして よもう

点（・）＝1文字で1つの音　線（ー）＝2文字いじょうで1つの音　うすい字＝よまない



into

～の中へ



no

いいえ



go

行く



by

～のそばに

その

the

その

1つの

a

1つの

2 なぞって かこう

くろい 字が おてほん。うすい 字を なぞってから、じぶんで かこう。あかい 線が「ベースライン」

the a I to the a I to



into into into



no no no



go go go

3 いみと ことばを 線で むすぼう

こえに だして よんでから、●と●を つなぐ

①	②	③	④	⑤
わたし	する	彼	彼女	～へ
●	●	●	●	●
● he ⓐ	● do ⓑ	● to ⓒ	● she ⓓ	● I ⓔ

家庭・教室での印刷は自由です（再配布・販売はご遠慮ください）

トリッキーワード1 ② れんしゅう

月　日　なまえ＿＿＿＿＿＿

4 つづりの あなうめ いみを 見て、いいながら、たりない 文字を かこう

つかう 文字　o　e

1. わたしたち　w＿＿　わたしたち
2. わたしを　m＿＿　わたしを
3. ～である　b＿＿　～である
4. だから　s＿＿　だから

5 音の カードを ならべかえて、ことばを つくろう

1. 彼の　i s h
2. 持っている　s a h
3. 　t o i n

6 サウンドボックス ことばを 音の かたまりに わけて、1つの はこに 1つずつ かこう（点線の はこ＝よまない字）

1. わたしの　my
2. ～です　is
3. ～として　as
4. あなた　you

7 ことばと いみを 線で むすぼう

your	あなたの
of	その
the	行く
no	～のそばに
go	～の
by	いいえ

8 もっと よめるかな？ よめたら ☐ に しるしを つけよう

☐ I わたし	☐ to ～へ	☐ do する	☐ he 彼	☐ she 彼女
☐ we わたしたち	☐ me わたしを	☐ be ～である	☐ so だから	☐ my わたしの
☐ is ～です	☐ his 彼の	☐ has 持っている	☐ as ～として	☐ you あなた

9 すきな ことばを えらんで、じぶんで かこう

家庭・教室での印刷は自由です（再配布・販売はご遠慮ください）

10 ぶんを よもう 1かい よめたら ☆を 1つ ぬろう（3かい よめたら ごうかく）

☆☆☆ **I go to the park.**
わたしは公園へ行く。

☆☆☆ **He is my dad.**
彼はわたしのお父さん。

☆☆☆ **She has a cat, and so do you.**
彼女はねこをかっているし、あなたもそう。

☆☆☆ **We are by the box of eggs.**
わたしたちはたまごのはこのそばにいる。

☆☆☆ はやくちことば **Do you go to the zoo? I do, so do you!**
動物園に行く？ わたしは行く、あなたもね！

11 きいて かこう（ディクテーション） おうちの人や 先生が よむ 文を きいて かく。よむ 文は「こたえ」の ページに あります

12 ワードサーチ よこ（→）と たて（↓）

g	r	n	w	c	l	i	v
l	v	s	g	h	g	n	t
m	a	h	b	i	t	t	h
a	o	e	x	s	e	o	e
p	s	v	a	y	t	j	e
h	w	c	f	o	x	e	y
a	k	i	w	j	n	i	o
s	j	d	m	n	e	a	u

☐ the ☐ into ☐ she ☐ his ☐ has ☐ you

13 ことばを ならべかえて、文を つくろう

is　dad.　my　He

彼はわたしのお父さん。

おうちの方・先生へ 最頻出の機能語は、古い発音が残ったり弱く読まれたりした結果、綴りと音がずれているものが多い。ただし全体が不規則なわけではなく、ずれているのは1〜2文字だけのことが多いので、「どこがトリッキーか」を意識して覚えると定着しやすい。

どこがトリッキー？ **a**：名前読み「エイ」でも /æ/ でもなく、弱い /ə/。one と同じ語源で、an の n が子音の前で落ちた形。 **I**：1文字で名前読み /aɪ/。古英語 ic の c が落ちた形で、小さな i だと埋もれるので大文字で書くようになったと言われる。 **the**：e が「エ」でも「イー」でもなく弱い /ə/（母音の前では /ðiː/）。古英語末期〜中英語の þe（þ は th を表す古い文字）から。 **to**：o が /ɑ/ ではなく /uː/。昔の長い o が大母音推移で /uː/ に変わった（do, who も同じ）。 **do**：o が /uː/。古英語 dōn の長い o が moon の oo と同じように /uː/ に変わった。 **into**：in + to。to の部分の o が /uː/。 **he**：マジック e がないのに e が名前読み /iː/。短い語の最後の母音は長く読む（開音節）。 **she**：語末の e が名前読み /iː/（開音節）。 **we**：語末の e が名前読み /iː/（開音節）。

できたかな？ ☐ 音が いえた ☐ ことばが よめた ☐ かけた ☐ 文が よめた できた日 月 日

家庭・教室での印刷は自由です（再配布・販売はご遠慮ください）

said was


オトッピ

きまり

said は「セイド」じゃなくて「セッド」、was は「ワス」じゃなくて「ワズ」。ふしぎな ことばも、なかまで おぼえると かんたん！

くちの コツ（おうちの方・先生へ）

said /sed/ を「セイド」、one /wʌn/ を「オネ」「オン」、who /huː/ を wh のルールどおり「ウー」と読み間違えやすい。who の /h/ はのどから息を出す音で、日本語の「フ」のようにくちびるを近づけない。音だけでなく口の形もセットで覚える。

おとを きこう（ユニットのページ）

1 ゆびで おさえながら、こえに だして よもう

点（・）＝1文字で1つの音　線（ー）＝2文字いじょうで1つの音　うすい字＝よまない


give
あげる


live
住む


put
置く


push
おす


pull
ひく


full
いっぱいの

2 なぞって かこう

くろい 字が おてほん。うすい 字を なぞってから、じぶんで かこう。あかい 線が「ベースライン」

said was said was


give give give


live live live


put put put

3 いみと ことばを 線で むすぼう

こえに だして よんでから、●と●を つなぐ

① 
② 
③ 言った
④ 
⑤ 

come ⓐ
one ⓑ
said ⓒ
love ⓓ
two ⓔ

家庭・教室での印刷は自由です（再配布・販売はご遠慮ください）

トリッキーワード 2 ② れんしゅう

月　日　なまえ＿＿＿＿＿＿＿＿

4 つづりの あなうめ いみを 見て、いいながら、たりない 文字を かこう

つかう 文字　ie　ay　a

1

fr＿＿nd
友だち

2

m＿ny
たくさんの

3
～だった
w＿s
～だった

4
言う
s＿＿s
言う

5 音の カードを ならべかえて、ことばを つくろう

1 持っている　a e v h

2 いくつかの　e m o s

3 1回　o e n c

6 サウンドボックス ことばを 音の かたまりに わけて、1つの はこに 1つずつ かこう（点線の はこ＝よまない字）

1 彼ら　they

2 だれ　who

3 そこに　there

4 どこ　where

7 ことばと いみを 線で むすぼう

here ●	● ここに
said ●	● 置く
give ●	● おす
live ●	● 言った
put ●	● あげる
push ●	● 住む

8 もっと よめるかな？ よめたら ☐ に しるしを つけよう

☐ was ～だった	☐ said 言った	☐ says 言う	☐ they 彼ら	☐ have 持っている
☐ come 来る	☐ some いくつかの	☐ love 愛する	☐ one 1	☐ once 1回
☐ two 2	☐ who だれ	☐ what なに	☐ were ～だった	☐ there そこに

9 すきな ことばを えらんで、じぶんで かこう

家庭・教室での印刷は自由です（再配布・販売はご遠慮ください）

10 ぶんを よもう 1かい よめたら ☆を 1つ ぬろう（3かい よめたら ごうかく）

☆☆☆ **They said, "Come and play!"**
彼らは「おいでよ、遊ぼう！」と言った。

☆☆☆ **Who was there?**
そこにだれがいたの？

☆☆☆ **Put one on the table.**
テーブルに1つ置いて。

☆☆☆ **Give some to your friend.**
友だちにいくつかあげて。

☆☆☆ はやくちことば **Who said what, and what was where?**
だれがなにを言って、なにがどこにあったの？

11 きいて かこう（ディクテーション） おうちの人や 先生が よむ 文を きいて かく。よむ 文は「こたえ」の ページに あります

12 ワードサーチ よこ（→）と たて（↓）

p	l	i	v	e	u	p	o
p	u	l	l	g	p	w	a
n	s	h	i	i	t	x	e
h	a	c	l	v	b	l	i
j	i	n	o	e	b	h	p
q	d	l	v	t	d	y	u
o	l	p	u	s	h	f	t
y	j	b	n	k	x	l	l

☐ said ☐ give ☐ live ☐ put ☐ push
☐ pull

13 ことばを ならべかえて、文を つくろう

on one table. the Put

テーブルに1つ置いて。

おうちの方・先生へ said / says、come / some / love、put / push / pull / full のように、同じずれ方をする語をグループで覚えると効率がよい。多くは「よく使うので短く・弱く発音されるようになった」「綴りが固まった後に発音が変わった」のどちらかが理由。

どこがトリッキー？ **was**：a が /æ/ ではなく /ʌ/（弱いと /ə/）、s は /z/。w のあとの a は音が変わりやすく、さらに弱く読まれて短くなった。 **said**：ai が /eɪ/ ではなく /e/。昔は /eɪ/ に近い音だったが、とてもよく使う語なので短くなった。 **says**：ay が /eɪ/ ではなく /e/、s は /z/。said と同じく短くなった。 **they**：ey が /eɪ/（obey, grey と同じ少数派）。バイキングの言葉（古ノルド語）þeir から入った語。 **have**：マジック e があるのに a は短いまま。英語の語はふつう v で終わらない（綴りの習慣）ので e を付けているだけ。 **give**：e が付くのに i は短い（v で終わらないための e）。i の前なのに g がかたい /g/ なのも例外。古ノルド語の影響とされる。 **live**：v で終わらないための e なので i は短い。形容詞の live（生の）は /laɪv/ と読む。 **put**：u が /ʌ/（but）ではなく /ʊ/。昔の短い u は多くの語で /ʌ/ に変わったが、p, b, f のあとでは /ʊ/ が残りやすかった。 **push**：u が /ʊ/（put と同じ理由）。

できたかな？ ☐ 音が いえた ☐ ことばが よめた ☐ かけた ☐ 文が よめた できた日 月 日

家庭・教室での印刷は自由です（再配布・販売はご遠慮ください）

could would


オトッピ

きまり

could や would には、よまない l が かくれているよ！ むかしの なごりが のこった ことばを、なぞときみたいに おぼえよう。

くちの コツ（おうちの方・先生へ）

could, would, should の l を発音しないこと（「クッド」）。ou は短い /ʊ/。wood と would は同じ発音になる。

おとを きこう（ユニットのページ）

1 ゆびで おさえながら、こえに だして よもう

点（・）＝1文字で1つの音　線（ー）＝2文字いじょうで1つの音　うすい字＝よまない


mother
お母さん


father
お父さん


water
水


eye
目


door
ドア


floor
ゆか

2 なぞって かこう

くろい 字が おてほん。うすい 字を なぞってから、じぶんで かこう。あかい 線が「ベースライン」

could would


mother mother


father father


water water

3 いみと ことばを 線で むすぼう

こえに だして よんでから、●と●を つなぐ


①


②

③ ～だろう


④


⑤

half ⓐ

would ⓑ

busy ⓒ

laugh ⓓ

people ⓔ

家庭・教室での印刷は自由です（再配布・販売はご遠慮ください）

4 つづりの あなうめ いみを 見て、いいながら、たりない 文字を かこう

つかう 文字 u ou o

1 

s__gar
さとう

2 

w__men
女の人たち

3 ～できた

c____ld
～できた

4 ～すべき

sh____ld
～すべき

5 音の カードを ならべかえて、ことばを つくろう

1 する — s oe d

2 ほかの — er o th

3 もう一度 — n a ai g

6 サウンドボックス ことばを 音の かたまりに わけて、1つの はこに 1つずつ かこう（点線の はこ＝よまない字）

1  father

2  water

3  door

4  floor

7 ことばと いみを 線で むすぼう

because	半分
hour	笑う
sure	1時間
eye	なぜなら
half	たしかな
laugh	目

8 もっと よめるかな？ よめたら ☐ に しるしを つけよう

☐ could ～できた	☐ would ～だろう	☐ should ～すべき	☐ does する	☐ other ほかの
☐ again もう一度	☐ half 半分	☐ laugh 笑う	☐ because なぜなら	☐ great すばらしい
☐ busy いそがしい	☐ people 人びと	☐ hour 1時間	☐ sugar さとう	☐ sure たしかな

9 すきな ことばを えらんで、じぶんで かこう

家庭・教室での印刷は自由です（再配布・販売はご遠慮ください）

10 ぶんを よもう 1かい よめたら ☆を 1つ ぬろう（3かい よめたら ごうかく）

☆☆☆ **Could you open the door?**
ドアを開けてくれる？

☆☆☆ **My mother and father like water.**
お母さんとお父さんは水が好き。

☆☆☆ **I would go, but I am busy.**
行きたいけれど、いそがしいんだ。

☆☆☆ **Should we go to the island again?**
また島へ行こうか？

☆☆☆ はやくちことば **I could if I would, and I would if I should!**
その気になればできるし、そうすべきならやるよ！

11 きいて かこう（ディクテーション） おうちの人や 先生が よむ 文を きいて かく。よむ 文は「こたえ」の ページに あります

12 ワードサーチ よこ（→）と たて（↓）

e	w	o	u	l	d	i	q
k	g	j	m	n	r	c	b
f	m	e	d	o	o	r	c
a	o	y	w	a	t	e	r
t	t	e	t	h	e	q	r
h	h	w	z	h	a	m	o
e	e	h	t	i	p	u	x
r	r	r	i	a	l	e	x

☐ would ☐ mother ☐ father ☐ water
☐ eye ☐ door

13 ことばを ならべかえて、文を つくろう

door? you open the Could

ドアを開けてくれる？

おうちの方・先生へ 綴りがほぼ固まった15〜16世紀以降に発音が変わった語や、学者がラテン語などに似せて文字を足した語（debt の b, island の s）、仲間の語に形をそろえて文字を足した語（could の l）は、綴りと音のずれが大きい。could / would / should のように同じ形のグループで覚えるのが近道。

どこがトリッキー？ **could**：l を読まず、ou は /ʊ/。もとは l のない coude だったが、would, should に形をそろえて15〜16世紀ごろ l が足された。 **would**：will の過去形で、昔は l を発音していたが音が消えた。 **should**：shall の過去形で、l の音が消えた。 **does**：oe が toe の /oʊ/ ではなく /ʌ/、s は /z/。do ＋ es の形で、母音がさらに短くなった。 **other**：o が /ɑ/ ではなく /ʌ/（come, love と同じ）。 **mother**：o が /ʌ/（other と同じ）。brother も同じ。 **father**：a が /æ/ ではなく広い /ɑ/。中英語では fader と書いて /d/ で発音していたが、16世紀ごろ -er の前の d が /ð/ に変わり（mother, together も同じ変化）、綴りも th になった。 **water**：a が /ɔː/（地域により /ɑ/）。w のあとの a が変化した。t は「ラ」に近い音（フラップ）になる。 **eye**：3文字で /aɪ/ ひとつ。古英語 ēage から発音が大きく変わり、綴りだけが古い形を残した。

できたかな？ ☐ 音が いえた ☐ ことばが よめた ☐ かけた ☐ 文が よめた できた日 月 日

家庭・教室での印刷は自由です（再配布・販売はご遠慮ください）

こたえ　STAGE 10

番号は 各ページの 問題番号
11＝ディクテーションで 読む文

the a I to　トリッキーワード 1（ユニット 96）



3 1-e　2-b　3-a　4-d　5-c

4 we　me　be　so　5 his　has　into

6 m·y　i·s　a·s　y·ou

7 your＝あなたの　of＝〜の　the＝その　no＝いいえ　go＝行く　by＝〜のそばに

11 He is my dad. / I go to the park.

13 He is my dad.

said was　トリッキーワード 2（ユニット 97）



3 1-e　2-b　3-c　4-d　5-a

4 friend　many　was　says　5 have　some　once

6 th·ey　wh·o　th·ere　wh·ere

7 here＝ここに　said＝言った　give＝あげる　live＝住む　put＝置く　push＝おす

11 Who was there? / Put one on the table.

13 Put one on the table.

could would　トリッキーワード 3（ユニット 98）



3 1-e　2-c　3-b　4-d　5-a

4 sugar　women　could　should　5 does　other　again

6 f·a·th·er　w·a·t·er　d·oor　f·l·oor

7 because＝なぜなら　hour＝1時間　sure＝たしかな　eye＝目　half＝半分　laugh＝笑う

11 Could you open the door? / I would go, but I am busy.

13 Could you open the door?

家庭・教室での印刷は自由です（再配布・販売はご遠慮ください）